平成25年8月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

平成25年1月11日

上場会社名　日創プロニティ株式会社　　上場取引所　福
コード番号　3440　URL　http://www.kakou-nisso.co.jp/
代表者　(役職名) 代表取締役社長　(氏名) 石田　利幸
問合せ先責任者 (役職名) 取締役経営企画室長　(氏名) 西川　新二　TEL 092-552-3749
四半期報告書提出予定日　平成25年1月11日
配当支払開始予定日　―
四半期決算補足説明資料作成の有無　：　無
四半期決算説明会開催の有無　：　無

(百万円未満切捨て)

1. 平成25年8月期第1四半期の業績(平成24年9月1日～平成24年11月30日)

(1) 経営成績(累計)　(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年8月期第1四半期	1,238	186.0	539	―	538	―	304	―
24年8月期第1四半期	432	12.9	△8	―	△8	―	△14	―

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年8月期第1四半期	36,472.42	36,380.90
24年8月期第1四半期	△1,734.84	―

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
25年8月期第1四半期	3,573	1,172	32.8
24年8月期	2,807	880	31.4

(参考) 自己資本　25年8月期第1四半期　1,172百万円　24年8月期　880百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年8月期	―	0.00	―	1,500.00	1,500.00
25年8月期	―				
25年8月期(予想)		0.00	―	1,500.00	1,500.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無　：　無

3. 平成25年 8月期の業績予想(平成24年 9月 1日～平成25年 8月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	2,400	181.9	850	―	850	―	490	―	58,696.69
通期	3,400	94.7	950	―	950	―	540	―	64,686.15

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無　：　有

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 ： 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 ： 無
② ①以外の会計方針の変更 ： 無
③ 会計上の見積りの変更 ： 無
④ 修正再表示 ： 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	25年8月期1Q	8,400 株	24年8月期	8,400 株
② 期末自己株式数	25年8月期1Q	52 株	24年8月期	52 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	25年8月期1Q	8,348 株	24年8月期1Q	8,348 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続きは終了しております。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

上記の業績予想の数値は本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成されたものであり、多分に不確定要素を含んでおります。実際の業績等は業況の変化等の今後の要因によって予想数値と異なる場合があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信【添付資料】P.3「業績予想に関する定性的情報」をご覧下さい。

○添付資料の目次

１．当四半期決算に関する定性的情報 …… 2
（１）経営成績に関する定性的情報 …… 2
（２）財政状態に関する定性的情報 …… 2
（３）業績予想に関する定性的情報 …… 3
２．サマリー情報（注記事項）に関する事項 …… 3
（１）四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 …… 3
（２）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 …… 3
３．四半期財務諸表 …… 4
（１）四半期貸借対照表 …… 4
（２）四半期損益計算書 …… 6
第１四半期累計期間 …… 6
（３）四半期キャッシュ・フロー計算書 …… 7
（４）継続企業の前提に関する注記 …… 8
（５）株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記 …… 8
（６）セグメント情報等 …… 8

１．当四半期決算に関する定性的情報

（１）経営成績に関する定性的情報

当第１四半期累計期間におけるわが国経済は、東日本大震災の復興需要等に支えられて緩やかな回復の兆しが見えるものの、欧州の債務危機問題に起因する海外経済の減速、長期化する円高等により、依然として先行き不透明な状況が続いております。

当社の属する金属加工業界におきましては、平成24年７月に再生可能エネルギー固定価格買取制度が施行されことから、太陽電池アレイ支持架台に対する需要が急拡大いたしました。

当四半期において全国各地でメガソーラー（大規模太陽光発電所）の建設が急増しており、当社におきましては、メガソーラー向け太陽電池アレイ支持架台（以下、メガソーラー向け架台とする。）の受注、生産に重点的に取り組んでまいりました。設計織込み済みのメガソーラー向け架台として、全国に販路を拡大した結果、約56MW（メガワット）分を納品することを得て、売上高の増加となりました。また、産業向け太陽電池アレイ支持架台、ソーラーネオポートの受注に積極的な営業活動を行いました。

以上の結果、太陽光発電関連製品を含むオーダー加工品の売上高は1,064,438千円（前年同期比271.0％増）となりました。企画品の売上高は、南九州地方での波板・折板の需要が増加したこともあり136,243千円（前年同期比16.7％増）となりました。

上記の受注の増加に伴い、臨時雇用の拡大及び新規設備の導入等生産体制の増強を図りました。

結果といたしまして、当第１四半期累計期間における売上高は1,238,290千円（前年同四半期比186.0％増）、営業利益は539,470千円（前年同四半期は8,177千円の営業損失）、経常利益は538,183千円（前年同四半期は8,464千円の経常損失）、四半期純利益は304,471千円（前年同四半期は14,482千円の四半期純損失）となりました。

（２）財政状態に関する定性的情報

①資産、負債及び純資産の状況

（資産）

当第１四半期会計期間末における総資産は、前事業年度末と比較して766,530千円（27.3％）増加して3,573,625千円となりました。

前事業年度末と比較し、流動資産は770,420千円（45.2％）増加し2,474,011千円、固定資産は3,890千円（0.4％）減少し1,099,614千円となりました。

流動資産の増加の主な要因は、現金及び預金が45,106千円、原材料及び貯蔵品が21,312千円減少したことに対して、受取手形及び売掛金が718,169千円、仕掛品が121,061千円増加したこと等によるものであります。

固定資産の減少の主な要因は、減価償却により34,996千円減少したこと等によるものであります。

（負債）

当第１四半期会計期間末における負債合計は、前事業年度末と比較して474,580千円（24.6％）増加し2,401,478千円となりました。

前事業年度末と比較し、流動負債は512,049千円（40.9％）増加し1,763,563千円、固定負債は37,469千円（5.5％）減少し637,914千円となりました。

流動負債の増加の主な要因は、1年内返済予定の長期借入金が16,704千円減少したことに対し、未払法人税等が224,513千円、買掛金が92,180千円、短期借入金が160,000千円増加したこと等によるものであります。

固定負債の減少の主な要因は、長期借入金が36,688千円減少したこと等によるものであります。

（純資産）

当第１四半期会計期間末における純資産合計は、前事業年度末と比較して291,949千円（33.2％）増加し1,172,147千円となりました。

純資産の増加の主な要因は、利益剰余金が291,949千円増加したことによるものであります。

②キャッシュ･フローの状況

当第１四半期累計期間における現金及び現金同等物(以下「資金」という)は、前事業年度末に比べ45,204千円減少し、818,814千円となりました。

また、当第１四半期累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

当第１四半期累計期間において営業活動の結果使用した資金は48,703千円（前年同四半期は158,161千円の獲得）となりました。

これは主に、仕入債務の増加92,180千円がありましたが、売上債権の増加718,169千円、たな卸資産の増加95,638千円により資金が減少したことによるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

当第１四半期累計期間において投資活動の結果使用した資金は92,101千円（前年同四半期は43,897千円の使用）となりました。

これは主に、有形固定資産の取得による支出90,973千円により資金が減少したことによるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

当第１四半期累計期間において財務活動の結果獲得した資金は95,599千円（前年同四半期は5,165千円の獲得）となりました。

これは主に、長期借入金の返済による支出53,392千円がありましたが、短期借入金の純増額160,000千円により資金が増加したことによるものであります。

（３）業績予想に関する定性的情報

業績予想につきましては、メガソーラー及び産業用太陽光発電施設向けの太陽電池アレイ支持架台の受注が急増いたしましたので、予想売上高及び予想利益を上回る見込みであることから、第２四半期累計期間及び通期の業績予想を修正いたしました。

詳細につきましては、本日（平成25年１月11日）公表いたしました「業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

２．サマリー情報（注記事項）に関する事項

（１）四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

（２）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

３．四半期財務諸表

（１）四半期貸借対照表

（単位：千円）

	前事業年度 （平成24年８月31日）	当第１四半期会計期間 （平成24年11月30日）
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	987,080	941,973
受取手形及び売掛金	308,648	1,026,817
商品及び製品	31,409	27,299
仕掛品	97,606	218,667
原材料及び貯蔵品	264,045	242,732
前払費用	2,279	3,016
繰延税金資産	10,722	20,250
未収入金	211	86
その他	5,086	3,057
貸倒引当金	△3,500	△9,890
流動資産合計	1,703,590	2,474,011
固定資産		
有形固定資産		
建物（純額）	391,616	385,983
構築物（純額）	7,522	7,131
機械及び装置（純額）	458,624	452,611
車両運搬具（純額）	514	488
工具、器具及び備品（純額）	8,923	13,714
土地	218,270	218,270
有形固定資産合計	1,085,472	1,078,200
無形固定資産	13,241	16,642
投資その他の資産		
破産更生債権等	10,689	10,669
その他	4,791	4,772
貸倒引当金	△10,689	△10,669
投資その他の資産合計	4,791	4,772
固定資産合計	1,103,505	1,099,614
資産合計	2,807,095	3,573,625

（単位：千円）

	前事業年度 （平成24年８月31日）	当第１四半期会計期間 （平成24年11月30日）
負債の部		
流動負債		
買掛金	83,354	175,535
短期借入金	790,000	950,000
1年内返済予定の長期借入金	173,456	156,752
未払法人税等	23,710	248,223
賞与引当金	－	10,085
その他	180,993	222,967
流動負債合計	1,251,514	1,763,563
固定負債		
長期借入金	330,826	294,138
退職給付引当金	31,494	32,445
長期未払金	300,200	300,200
繰延税金負債	12,727	10,995
その他	136	136
固定負債合計	675,383	637,914
負債合計	1,926,898	2,401,478
純資産の部		
株主資本		
資本金	295,000	295,000
資本剰余金	215,000	215,000
利益剰余金	371,932	663,882
自己株式	△1,734	△1,734
株主資本合計	880,197	1,172,147
純資産合計	880,197	1,172,147
負債純資産合計	2,807,095	3,573,625

（２）四半期損益計算書
（第１四半期累計期間）

（単位：千円）

	前第１四半期累計期間 （自 平成23年９月１日 至 平成23年11月30日）	当第１四半期累計期間 （自 平成24年９月１日 至 平成24年11月30日）
売上高	432,935	1,238,290
売上原価	339,669	572,024
売上総利益	93,266	666,265
販売費及び一般管理費	101,443	126,794
営業利益又は営業損失（△）	△8,177	539,470
営業外収益		
受取利息	40	149
受取家賃	261	376
受取補償金	30	191
貸倒引当金戻入額	1,937	20
その他	209	196
営業外収益合計	2,479	933
営業外費用		
支払利息	2,765	2,220
営業外費用合計	2,765	2,220
経常利益又は経常損失（△）	△8,464	538,183
税引前四半期純利益又は税引前四半期純損失（△）	△8,464	538,183
法人税、住民税及び事業税	262	244,971
法人税等調整額	5,755	△11,259
法人税等合計	6,018	233,712
四半期純利益又は四半期純損失（△）	△14,482	304,471

（３）四半期キャッシュ・フロー計算書

（単位：千円）

	前第１四半期累計期間 （自 平成23年９月１日 至 平成23年11月30日）	当第１四半期累計期間 （自 平成24年９月１日 至 平成24年11月30日）
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前四半期純利益又は税引前四半期純損失（△）	△8,464	538,183
減価償却費	34,327	34,996
貸倒引当金の増減額（△は減少）	△1,937	6,370
退職給付引当金の増減額（△は減少）	1,136	950
賞与引当金の増減額（△は減少）	9,579	10,085
受取利息及び受取配当金	△40	△149
支払利息	2,765	2,220
売上債権の増減額（△は増加）	187,351	△718,169
たな卸資産の増減額（△は増加）	32,496	△95,638
仕入債務の増減額（△は減少）	△24,135	92,180
未払費用の増減額（△は減少）	△10,545	15,948
その他	△705	88,878
小計	221,828	△24,142
利息及び配当金の受取額	40	149
利息の支払額	△2,736	△2,516
法人税等の支払額	△60,971	△22,194
営業活動によるキャッシュ・フロー	158,161	△48,703
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△61,655	△52,726
定期預金の払戻による収入	21,024	52,628
有形固定資産の取得による支出	△1,232	△90,973
無形固定資産の取得による支出	△2,033	△1,030
投資活動によるキャッシュ・フロー	△43,897	△92,101
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額（△は減少）	△140,000	160,000
長期借入れによる収入	200,000	－
長期借入金の返済による支出	△40,216	△53,392
配当金の支払額	△14,618	△11,008
財務活動によるキャッシュ・フロー	5,165	95,599
現金及び現金同等物の増減額（△は減少）	119,429	△45,204
現金及び現金同等物の期首残高	538,334	864,019
現金及び現金同等物の四半期末残高	657,764	818,814

（４）継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

（５）株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

（６）セグメント情報等

前第１四半期累計期間（自平成23年９月１日 至平成23年11月30日）及び当第１四半期累計期間（自平成24年９月１日 至平成24年11月30日）

当社は、金属加工事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。